

令和4年5月新旭地域住民自治協議会を設立します！

■地域をとりまく環境の変化

私たちの暮らす新旭地域は、市内他地域にくらべて人口減少は緩やかで、駅前には住宅や商業施設の建設が続いています。

しかし、新旭地域の区自治会からは「役員のなり手が無い」「顔を合わせるメンバーがいつも同じ」「新しい住民と旧来の住民に溝がある」「区自治会に入ってもらえない」など、これまでの活動が徐々にできなくなってきているとの声が聞こえています。

また、地域内で活動する市民団体も、高齢化が進み、これまで続けてきた活動を継続するためには、後継者の育成や掘り起しが急務となっています。

■新しい地域のしくみ

今後も、新旭地域が住みよい安全な地域であるために、環境の整備・見守り・防災訓練等を実施しながら後継者育成をするためには、区自治会や区自治会に加入していない方、市民団体、企業等が力を合わせることで、より広域的かつ効果的に、さらに持続的に取り組むことができるかもしれません。

住民自治協議会は、区自治会や既存団体の代わりとなる組織ではありません。

住民自治協議会で取り組んでいく事業は、10～20年後の新旭地域を見据えた、“これから”の「まちづくり・ひとづくり」事業です。

■住民自治協議会設立準備会の設置

そこで、令和2年10月に新旭地域住民自治協議会設立準備会を設置し、十数回におよぶ議論を進めてきました。



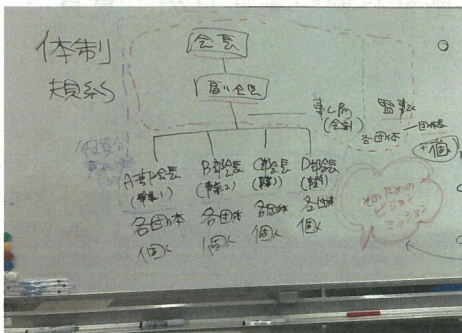
やりたいことや必要だと思う取り組みを書き出しました。



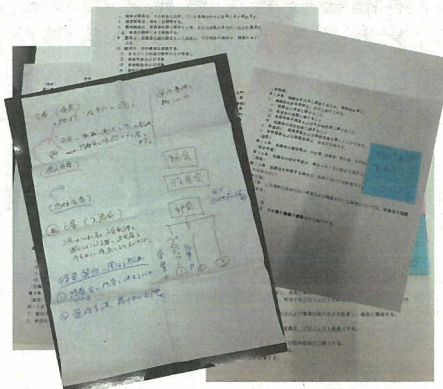
各取組の重要度や緊急度、難易度を年表にしました。



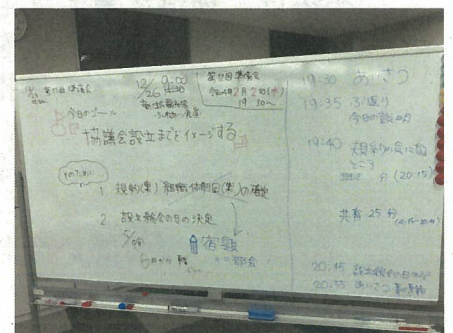
深溝：コワーキングスペースのwaccaさんで、雰囲気を変えて議論。



組織体制についても、ホワイトボードに書いて、みんなで共有しながら、



規約は、グループワークで意見を出し合いどんどん書き込みました。



設立までの道のりを具体的にイメージしていきます。

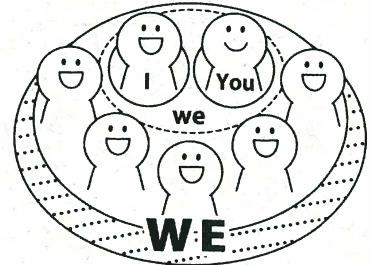
■住民自治協議会設立準備会での議論

新旭地域でも、近年はどこに誰が暮らしているのか、顔が見えなくなってきました。「人のつながりの希薄化」です。人のつながりがなくなってしまうと、地域から憩いの場や居心地の良さが失われ、癒しや遊び、学び合いの機会が失われてしまいます。

そこで、つながりを結びなおすために、どんな地域を目指すのか、そのために何をするか、そのミッション達成のために考えられる事業（案）を話し合いました。

私たちのビジョン（目指す姿）

つなぎ つながる この町で
やっぱり住みたい しんあさひ



私たちのミッション（そのために何をするか）

みんなで、つながる、迎える、知る、伝える、
顔の見える関係づくり

『町のえんがわの実現』

「町のえんがわ」…まちの中の様々な場所や関係性。
拠点でもあり、活動でもあり、まちそのものを指しています。

情報の拠点づくり事業

新旭で活動する団体や企業が集い、情報交換や交流を通して、連携や情報発信を行います。

くらしの拠点づくり事業

ボランティアや地域活動をとおして、お互いさまとおかげさまのくらしづくりを行います。

学びの拠点づくり事業

挑戦する人たちを財産と捉え、地域資源を活かした学びの機会づくりを行います。

しくみの拠点づくり事業

新旭で暮らし続けるために、地域内循環の実現を目指した仕組みづくりを行います。

■令和4年5月の設立にむけて

総会に向けて、13名の準備会委員で意見を出し合い、議論を進めています。今後は、地域で暮らすもっとたくさんの方々の多様な意見をお伺いするため、意見交換や交流のできる場を設けていきたいと考えています。

ぜひ、「あなたの目指すしんあさひの姿」をお聞かせください。

新旭地域住民自治協議会設立準備会 会長 平楽 康男
副会長 堀 英陽

※お問い合わせは、会長、副会長または新旭振興室（25-8526）まで。



新旭地域住民自治協議会設立準備会の
Facebookページは、こちらから♪